場所　神奈川県横須賀市

面積　10.5ha



活動目的　健全な「スダジイ群落」を育成・拡大し、そこで育まれる生物たちが共生しあう森となるよう、まずはそれぞれの種の保全・回復を図る。

サイト概要

本サイトはＪＥＲＡパワー横須賀合同会社横須賀火力発電所の敷地内にあり、工場立地法における緑地として、サイト内に点在する電波塔への通路確保のための除草・伐採・剪定等の維持管理作業を行ってきた。「オオシマザクラ植林」等植栽を起源とする種と、植生自然度上高く評価される「スダジイ」等が入り混じり共生する二次的な自然環境が存する場であり、2024年の調査では、植物は32種、動物は235種　計267種が確認されている。本申請を機に、改めて「スダジイ」等を保全・回復対象種として定め、これまで同様の維持管理活動に付随して継続実施できるような活動計画およびモニタリング計画を立案した。認定後は、保全種の回復に向け配慮のある維持管理活動を行っていく。

土地利用の変遷

本サイトは、1960年の火力発電所の運転開始とともに管理され、一部エリアへの人為的な植栽を除いては改変されることなくほぼ自然林に近い形で保全されてきたサイトである。現在は設置された電波塔への通路として利用しており、今後もその利用を継続し一般への開放なども予定していないため、保全回復対象種へのアプローチがしやすい環境である。2025年には発電所敷地内のさらに海際のエリアに約13.5haの緑地を設置し、こちらは一般開放も行う予定である。

サイト周辺の環境

横須賀市営公園である「くりはま花の国」と接地しており、一帯となって三浦丘陵を形成する連続した緑地の海側の始点に位置している。

アピールポイント

サイト内には「スダジイ群落（植生自然度：8）」が点在しており、希少種の生育も確認されている。2024年の調査では、植物は32種、動物は235種　計267種の動植物のすみかとなっていることが確認されている。また、過去に国内希少野生動植物種であるハヤブサが発電所内にて営巣・抱卵する姿も確認されている。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

本サイトは、「オオシマザクラ植林」等植栽を起源とする種と、植生自然度上高く評価される「スダジイ」等が入り混じり共生する二次的な自然環境が存する場である。また、森内の通路を整備することで下草刈りができており、植物は32種、動物は235種　計267種の多種多様な動植物のすみかとなっている。

【主な植生】

スダジイ群落、オオシマザクラ植林、マテバシイ植林、ハゼノキーカラスザンショウ群落、クズ群落、アズマネザサ群落など

【確認された主な動植物など】

2024年に実施した現地調査結果より
植物：21科 32種
動物：29目 121科 235種
合計で267種の動植物が確認されている。

【タヌキ】
　学名：*Nyctereutes procyonoides*、成獣
【ノウサギ】
　学名：*Lepus brachyurus*、成獣
【ヒガシニホントカゲ】
　学名：*Plestiodon finitimus*、成体



写真の説明：スダジイ群落



写真の説明：オオシマザクラ植林

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

本サイトには、スダジイと同じくブナ科の樹木であるマテバシイの植林地がスダジイ群落よりも広範囲にひろがっており、ブナ科の樹木と共生する菌根菌が必要な種にとって理想的な生息環境である。

【確認された希少種】

本サイトでは2024年に実施した調査により、環境省レッドリストまたは神奈川県レッドリストに掲載された希少種として、鳥類7種、爬虫類2種、昆虫類4種、植物3種が確認されている。

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
＜活動目的＞ 健全な「スダジイ群落」を育成・拡大し、そこで育まれる生物たちが共生しあう森となるよう、まずはそれぞれの種の保全・回復を図る。 ＜活動内容＞ サイトを３つのゾーンに分け、①②では保全・回復対象種の保全・回復に向けた活動（下草刈りや樹木剪定等）を行い、③では①②の保全に影響を及ぼしかねない外来種やナラ枯れへの対策を行うことで、サイト全体で生物多様性の価値(3)と価値(6)の保全に寄与する。 ゾーン①：どんぐりを林床に着実に根付かせるための下草刈りと、適度な日が差し込むよう行う枯れ枝剪定等を適宜行う。 ゾーン②：日照確保のための周辺樹木の剪定を年１回行う。 ゾーン③：原則土地改変を含めた人為的な介入は行わず、自然な遷移を目指す。 ＜実施体制、計画の点検・見直し＞ 2016年より本サイトを含めた火力発電所エリア一帯での維持管理業務を行っている西武造園㈱が中心となり、統治責任者、活動責任者とともにこれらの保全・回復活動を行っていく。またモニタリング結果等を踏まえながら、１年に１回の頻度で計画の軌道修正や追加的に必要な作業の確認・設定等を行い、５年に１回の頻度で今後５年間の活動計画の改定検討を必要に応じて行う。	**【モニタリング対象】** 主には「スダジイ」等の保全・回復対象種 ※他、モニタリングルート踏査中に現れた種についても記録する **【モニタリング場所】** ・主に各保全対象種が生育しているエリア周辺 ・モニタリングルート（サイト全体の巡視も、年4回行う） **【モニタリング手法】** モニタリング調査票を用い、モニタリング項目として記載している事象の発生有無について目視で確認し、記録する。 **【モニタリングの実施時期及び頻度】** 年4回　（①4月中-5月末　②6月中-7月中　③8月　④1月中-2月末） ※保全対象種の変化が判別しやすい時期 もしくは 維持管理作業と並行して行いやすい時期に設定した。 **【モニタリング実施体制】** 西武造園㈱にて実施する。毎年度末に１回実施予定の３者(*)会議にて、巡視結果等についての情報共有と、次年度以降の運営面における軌道修正・点検も行う。 *…株式会社ＪＥＲＡ（統治責任者）、ＪＥＲＡパワー横須賀合同会社（活動責任者）、西武造園株式会社（維持管理）